

< 第11回安全保障シンポジウム >

安保法制のその先

～尖閣警備・駆けつけ警護の課題と展望～

日時 2016年 **9月29日(木)** 13:30～16:30 (13:00 受付開始)

会場 **日本プレスセンタービル(日比谷) 10階ホール**

参加無料 ※事前に当シンポジウム HP よりご登録をお願いいたします。

日本では今年3月、安全保障関連法が施行され、自衛隊の活動範囲が拡大しました。しかし、安全保障環境や国際情勢が厳しさを増している中、現実即して議論をさらに深めるべき論点も残っています。「グレーゾーン事態」と「駆けつけ警護」がその代表でしょう。

今回のシンポジウムでは、防衛副大臣、元防衛副大臣をはじめ、海上保安庁や自衛隊の元幹部らを招き、尖閣を中心とする東シナ海での中国の活動の実態、海上保安庁の領海警備の現状、グレーゾーン事態対応の課題について議論します。

また、PKOの現場で自衛隊の「駆けつけ警護」はどんな場合に可能になるのか、なども合わせ、法制・運用・予算などの観点から、日本が備えておくべきことを考える機会にしたいと思います。

登壇者	プログラム
モデレーター 田中 明彦 東京大学教授(前 JICA 理事長)	13:00 受付開始
パネリスト 若宮 健嗣 自由民主党・防衛副大臣	13:30 パネルディスカッション 第1部
渡辺 周 民進党・元防衛副大臣	14:50 休憩 ※冒頭に質問票を回収します
佐藤 雄二 前 海上保安庁長官	15:10 パネルディスカッション 第2部
織田 邦男 元 航空自衛隊航空支援集団司令官	16:30 閉会
勝股 秀通 日本大学教授(元 読売新聞編集委員)	
総合司会 川戸 恵子 TBS シニアコメンテーター	

お申し込みはこちら ▶ <http://anpo.netj.or.jp/>

安全保障 ネットジャーナリスト協会 でアクセスしてください

主催 : NPO 法人 ネットジャーナリスト協会 後援 : 読売新聞社
協賛 : 日本郵船(株) 東日本旅客鉄道(株) 三井不動産(株) 三菱重工業(株)

モデレーター



田中明彦

東京大学 東洋文化研究所 教授

1954年 埼玉県生まれ。東京大卒。
マサチューセッツ工科大学政治学博士。
2002年 東京大学東洋文化研究所 所長、
2009年 同大副学長 就任。
2012年より国際協力機構 (JICA) の理事長を務めた。
専門は、日本と東アジアの国際政治に関する歴史的研究・
現状分析也。

総合司会



川戸 恵子

TBS シニアコメンテーター

兵庫県生まれ。お茶の水女子大卒。
TBS 入社後、政治部記者、選挙担当記者として
長年政界を取材。
これまで、自衛隊倫理審査会長、内閣府・消費者
委員会委員などを歴任。
現在、日本記者クラブ企画委員。選挙学会理事。

パネリスト



若宮 健嗣

自由民主党・防衛副大臣

1961年 東京都生まれ。慶応大卒。
セゾングループで代表秘書などを経て、
2005年 衆議院議員に初当選。
2013年 防衛大臣政務官 就任。
2015年 防衛副大臣兼内閣府副大臣に就任。
当選3回。



渡辺 周

民進党・元防衛副大臣

1961年 静岡県生まれ。早稲田大学卒。
1987年 読売新聞 入社。
1996年 衆議院議員に初当選。
衆議院安全保障委員会筆頭理事やテロ・イラク特別
委員会委員を経て、2011年 防衛副大臣に就任。
その後、党幹事長代理などを歴任。当選7回。



佐藤 雄二

前 海上保安庁長官

1954年 神奈川県生まれ。海上保安大卒。
海上保安庁入庁後、奄美群島・東シナ海などを直轄する
第10 管区海上保安本部長、海上保安庁警備救難部長
などを歴任。
2013年 生え抜きの保安官から初めて、海上保安庁長官
に就任。2016年 6月 退任。



織田 邦男

元 航空自衛隊航空支援集団司令官

1952年 愛媛県生まれ。防衛大卒。
航空自衛隊入隊後、F4 戦闘機パイロットなどを経て、
米国の空軍大学へ留学。スタンフォード大学客員研究員や、
第6 航空団司令官などを歴任し、2005年 空将 就任。
2006年 航空支援集団司令官 (イラク派遣航空部隊指揮官
を兼務) に就任。2009年 退官。



勝股 秀通

日本大学危機管理学部教授

1958年 千葉県生まれ。青山学院大卒。
1983年 読売新聞 入社。1993年から防衛問題を担当。
1999年 防衛大学校総合安全保障研究科
(修士課程・民間人1期生)を修了。
その後、編集委員、解説部長、主任研究員等を歴任。
2016年 4月から現職。
著書に「自衛隊、動く」(ウェッジ)など。

会場案内



日本プレスセンタービル 10階ホール

(東京都千代田区内幸町 2-2-1)

【アクセス】

東京メトロ千代田線・日比谷線 霞ヶ関駅 C3 出口より徒歩 2分

丸の内線 霞ヶ関駅 B2 出口より徒歩 5分

銀座線 虎ノ門駅 9・10 出口より徒歩 7分

都営地下鉄三田線 内幸町駅 A6・7 出口より徒歩 2分

JR 新橋駅 日比谷口から徒歩 10分

※日本プレスセンターには専用駐車場はございません。

■会場でのお願い

- ・ 座席は一部を除き、自由席です。なるべく前方へ詰めておかけください。
- ・ 携帯電話は電源をお切りになるかマナーモードに設定の上、通話はご遠慮下さい。
- ・ 会場内は禁煙です。
- ・ 報道関係者以外の会場内での録音・録画・写真撮影等は禁止です。
- ・ 本日のシンポジウムは、インターネットによる生中継を行い、その後オンデマンド配信を行います。ご了承の程お願い致します。